

# 精神看護学

## 目標Ⅰ. 精神保健の基本と保持・増進に向けた看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
1 精神保健の基本	A 精神の健康の概念	a 精神の健康の定義	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第2章 A「精神の健康とは」(p.24~30) 精神保健福祉 : 第1章 B-1「精神保健福祉とは」(p.5~6)
		b 精神障害の一次予防・二次予防・三次予防	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第2章 D-5「精神保健における3つの予防概念」(p.52~53) 公衆衛生 : 第8章 E-1-2「地域での暮らしと精神の健康を支える3つの予防策」(p.268~270) 精神保健福祉 : 第4章「精神保健福祉活動の展開に必要な知識と技術」(p.66~120)
	B 心の機能と発達	a 精神と情緒の発達	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第3章 B「心のしくみと人格の発達」(p.79~113)
		b 自我の機能	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第3章 B-2「意識と無意識——精神分析と精神力動理論」(p.83~91)
		c 防衛機制	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第3章 B-2-3「自我の防衛機制」(p.86~90)
		d 精神力動	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第3章 B-2「意識と無意識——精神分析と精神力動理論」(p.83~91)
		e 転移感情	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第8章 E-1「転移・逆転移」(p.45~47)
	C 精神の健康に関する普及啓発	a 偏見、差別、スティグマ	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第1章 B-5「病いの苦しみと環境の不寛容」(p.7~8)、第7章 D-1「逸脱とスティグマ——社会的烙印」(p.331~332) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第11章 B-1-2「入院のデメリット」(p.218~223)
		b 精神保健医療福祉の改革ビジョン	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第1章 D-2「世界からみた日本の精神科医療の課題」(p.14~20)、第7章 B-5-2「入院医療中心から地域生活中心へ——精神保健福祉の改革ビジョン」(p.319~320) 社会保障・社会福祉 : 第7章 B-3「障害者福祉制度の変遷」(p.186~190)、B-4「新たな法体系の整備」(p.190~195) 精神保健福祉 : 第3章 B「施策の動向」(p.56~63)
	D 危機〈クライシス〉	a 危機〈クライシス〉の概念	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第6章 A-2-3「健康破綻による危機状況」(p.201~204) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第2章 B-3-1「危機への反応としての精神障害」(p.34~35) 精神保健福祉 : 第4章 B-1-1「危機的状況とはなにか」(p.82~83)
		b 危機〈クライシス〉の予防	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第2章 B-4-2「危機を回避するための要因」(p.37)、D-5「精神保健における3つの予防概念」(p.52~53) 精神保健福祉 : 第4章 B「早期の対応と地域生活をつなぐために——二次予防」(p.81~101)
		c 危機介入	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第6章 B-1「危機にある人々への支援」(p.204~210) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第2章 B-3-2「危機介入の方法としてのソーシャルサポート」(p.35~36)、D-5「精神保健における3つの予防概念」(p.52~53) 精神保健福祉 : 第4章 B-1「危機的状況に対する早期介入」(p.82~87)
		d ストレスと対処	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第5章 B-2「ストレスと健康生活」(p.172~177) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第2章 B-4「ストレスの対処(コーピング)」(p.36~37)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			心理学：第10章 B-1「ストレスと適応」(p.196～201)
		e 適応理論	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第2章 B-1「生体システムとしてのストレス反応」(p.31～33)、4「ストレスに対応する個人のなかの力」(p.36～38) 心理学：第10章 B-1「ストレスと適応」(p.196～201)
E	災害時の地域における精神保健医療活動	a 災害時の精神保健医療活動	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第15章「災害時のメンタルヘルスと看護」(p.374～388) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)：第2章 E-5「精神障害者に対する災害看護」(p.157～161) 精神保健福祉：第4章 B-2-5「災害と精神保健福祉」(p.98～101)
		b 災害時の精神保健に関する初期対応	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第15章 A-4「災害派遣精神医療チーム(DPAT)の活動」(p.378～379)、B「災害にみまわれた人の心理とケア」(p.379～386) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)：第2章 E-5「精神障害者に対する災害看護」(p.157～161) 精神保健福祉：第4章 B-2-5「災害と精神保健福祉」(p.98～101)
		c 災害時の精神障害者への治療継続	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第13章 B-3「病院が被災したとき」(p.384～386) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)：第2章 E-5「精神障害者に対する災害看護」(p.157～161)
F	精神の健康とマネジメント	a 心身相関と健康	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第5章 C-7-4「心身症」(p.233～234) 精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第12章 A-1「精神療法としての身体のケア」(p.256～261)、2「身体化する患者の世界」(p.261～264)
		b 身体疾患がある者の精神の健康	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第12章 D「身体合併症のアセスメントとケア」(p.298～306)、第14章 A「身体疾患をもつ患者のメンタルヘルス」(p.350～352)
		c 精神疾患がある者の身体の健康	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第12章「身体をケアする」(p.256～309)、第14章 C-1「精神疾患をもつ患者が一般病棟で治療を受けるとき」(p.356～358)
		d 患者と家族の精神の健康	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第4章 B-3「家族システムという考え方」(p.121～130)、4「家族のストレスと感情表出」(p.130～131)、第6章 B-3「家族療法」(p.256～265) 精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第10章 C-5「クライアントとしての家族／パートナーとしての家族」(p.171～178) 家族看護学：第3章 C-1「家族療法」(p.102～111)
		e 保健医療福祉に従事する者の精神の健康	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第14章 D「看護師のメンタルヘルスへの支援」(p.371～372)、第16章 F「共感疲労を予防するためのいくつかのヒント」(p.407～411)
		f 心身相関の考え方に基づくホリスティックケア	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第12章「身体をケアする」(p.256～309)
		g リエゾン精神看護	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第14章「医療の場におけるメンタルヘルスと看護——リエゾン精神看護」(p.350～372)
		h 患者、家族、保健医療福祉の専門職間の連携促進	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第8章 G「チームのダイナミクス」(p.63～67)、第10章 C-2「アウトリーチと多職種連携」(p.153～161)、第11章 E-3「多職種連携による地域移行支援」(p.251～253) 家族看護学：第5章 E「精神疾患患者の家族看護」(p.236～250) 精神保健福祉：第6章「地域移行支援の展開」(p.158～204)、第7章「地域生活支援の展開」(p.206～241)

目標Ⅱ. 主な精神疾患・障害の特徴と看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
2 主な精神疾患・障害の特徴と看護	A 症状性を含む器質性精神障害	a 症状と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-6-12 「認知症」 (p.223~229)、7-3 「症状精神病」 (p.232~234)
		b 臨床検査および心理検査と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第3章 A-6 「心理的特性をはかる検査」 (p.74~79)、第5章 C-6-12 「認知症」 (p.223~229)、7-3 「症状精神病」 (p.232~234)
		c 薬物療法と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-6-12 「認知症」 (p.223~229)、7-3 「症状精神病」 (p.232~234)、第6章 C-2-8 「抗認知症薬」 (p.284) 臨床薬理学 : 第4章 D-1 「精神および神経症状にかかわる薬物」 (p.259~260)
	B 精神作用物質使用による精神・行動の障害	a 症状と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-5 「精神作用物質使用による精神および行動の障害」 (p.201~207) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第10章 C-5 「クライアントとしての家族／パートナーとしての家族」 (p.171~178)
		b 臨床検査および心理検査と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-5 「精神作用物質使用による精神および行動の障害」 (p.201~207)
		c 薬物療法と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-5 「精神作用物質使用による精神および行動の障害」 (p.201~207)、第6章 C-2-9 「抗酒薬」 (p.285) 臨床薬理学 : 第4章 D-1 「精神および神経症状にかかわる薬物」 (p.259~260)
	C 統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害	a 症状と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-2-1 「統合失調症の症状」 (p.165~169)、2-2 「統合失調症の病型とその症状」 (p.170~172) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第10章 C-4 「再発の危機を乗り越える」 (p.167~171)
		b 臨床検査および心理検査と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-2-1 「統合失調症の症状」 (p.165~169)、2-2 「統合失調症の病型とその症状」 (p.170~172)
		c 薬物療法と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-2-5 「統合失調症の治療」 (p.174~176)、第6章 C-2-2 「抗精神病薬」 (p.268~275) 臨床薬理学 : 第4章 D-2 「抗精神病薬の臨時投与」 (p.261~267)
	D 気分〈感情〉障害	a 症状と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-3-3 「気分 [感情] 障害の主要症状」 (p.185~187) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第10章 C-2 「アウトリーチと多職種連携」 (p.153~161)
		b 臨床検査および心理検査と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-3-3 「気分 [感情] 障害の主要症状」 (p.185~187)
		c 薬物療法と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-3-7 「気分 [感情] 障害の治療」 (p.188~191)、第6章 C-2-3 「抗うつ薬」 (p.275~279)、2-4 「気分安定薬 (抗躁薬)」 (p.279~281) 臨床薬理学 : 第3章 S 「うつ病・うつ状態」 (p.196~202)、第4章 D-3 「抗不安薬の臨時投与」 (p.269~272)
	E 神経症性障害、ストレス関連障害、身体表現性障害	a 症状と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-4 「神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害」 (p.191~201)
		b 臨床検査および心理検査と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-4 「神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害」 (p.191~201)
		c 薬物療法と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-4 「神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害」 (p.191~201)、第6章 C-2-5 「抗不安薬」 (p.281~282)
	F 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	a 症状と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-6-4 「摂食障害」 (p.215~216)、7-1 「睡眠障害」 (p.229~231) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第9章 G 「リカバリーのプロセス——摂食障害に苦しんだ女性の物語」 (p.108~112)
		b 臨床検査および心理検査と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-6-4 「摂食障害」 (p.215~216)、7-1 「睡眠障害」 (p.229~231)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		c 薬物療法と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-6-4 「摂食障害」 (p.215~216)、7-1 「睡眠障害」 (p.229~231)、第6章 C-2-6 「睡眠薬(催眠薬)」 (p.282~283)
	G パーソナリティ障害	a 症状と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-6-5 「パーソナリティ障害」 (p.216~217)
b 臨床検査および心理検査と看護		精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-6-5 「パーソナリティ障害」 (p.216~217)	
c 薬物療法と看護		精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-6-5 「パーソナリティ障害」 (p.216~217)	
	H 習慣および衝動の障害	a 症状と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-6-6 「秩序破壊的・衝動制御・素行障害群」 (p.217~218)
b 臨床検査および心理検査と看護		精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-6-6 「秩序破壊的・衝動制御・素行障害群」 (p.217~218)	
c 薬物療法と看護		精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-6-6 「秩序破壊的・衝動制御・素行障害群」 (p.217~218)	
	I 性同一性障害	a 症状と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-7-2 「性別違和、性別不合」 (p.231) 精神保健福祉 : 第8章 D 「ジェンダーと精神保健福祉」 (p.279~288)
b 臨床検査および心理検査と看護		精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-7-2 「性別違和、性別不合」 (p.231)	
c 薬物療法と看護		精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-7-2 「性別違和、性別不合」 (p.231)	
	J 知的障害(精神遅滞)	a 症状と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第3章 A-4-3 「知能能力の障害による生活上の問題」 (p.69~70)、第5章 C-6-1 「知的能力障害/知的発達障害」 (p.208~209) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第9章 C-3 「誰にでも回復の可能性はある」 (p.87~89)、第10章 C-3 「複合的な問題をかかえた長期入院患者の退院を支援する」 (p.161~167)
b 臨床検査および心理検査と看護		精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第3章 A-4-2 「知能指数(IQ)」 (p.68~69)、第5章 C-6-1 「知的能力障害/知的発達障害」 (p.208~209)	
c 薬物療法と看護		精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-6-1 「知的能力障害/知的発達障害」 (p.208~209)	
	K 心理的発達の障害	a 症状と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-6-3 「発達障害」 (p.211~215)
b 臨床検査および心理検査と看護		精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-6-3 「発達障害」 (p.211~215)	
c 薬物療法と看護		精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-6-3 「発達障害」 (p.211~215)	
	L 小児期・青年期に発症する行動・情緒の障害	a 症状と看護	小児看護学 [2] (小児臨床看護各論) : 第18章 「精神疾患と看護」 (p.486~518) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-6-3 「発達障害」 (p.211~215) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第10章 D-4 「特別な配慮が必要な児童・生徒への支援」 (p.185~187)
b 臨床検査および心理検査と看護		精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-6-3 「発達障害」 (p.211~215)	
c 薬物療法と看護		精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-6-3 「発達障害」 (p.211~215)	

目標Ⅲ. 精神看護の対象の理解と支援のための概念について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
3 精神看護の対象の理解と支援のための概念	A 援助関係の構築	a 信頼関係の基礎づくり	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第8章 A「ケアの前提——感情を通して自分を知り、相手を知ること」(p.2~6)、B「ケアの原則」(p.6~13) 精神保健福祉 : 第6章 A-1「支援開始時」(p.158~163)
		b 患者-看護師関係の発展と終結	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第8章 A「ケアの前提——感情を通して自分を知り、相手を知ること」(p.2~6)、B「ケアの原則」(p.6~13)、C「ケアの方法」(p.14~27)、E「患者-看護師関係における感情体験」(p.45~53)、第11章 E-4「患者-看護師関係の終わり方」(p.253~254) 精神保健福祉 : 第6章 A-2「退院導入期」(p.163~169)、A-3「退院準備期」(p.169~172)
		c プロセスレコードの活用	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第8章 D「関係をアセスメントする」(p.28~45) 人間関係論 : 第10章 B-2「プロセスレコード」(p.193~195)
	B セルフケアへの援助	a 食物・水分の摂取	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第8章-Column「〈看護の理論家たち④〉オレムとアンダーウッド」(p.59)、第11章 D「ケアの方向性を考える」(p.240~247)、第12章 D-1「メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)」(p.298~300)、2「やせ(るい瘦)」(p.300) 精神保健福祉 : 第6章 A「長期入院患者の地域移行支援の展開」(p.158~173)、第7章 A-2「地域生活支援の展開と看護師の役割」(p.208~217)
		b 呼吸	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第8章-Column「〈看護の理論家たち④〉オレムとアンダーウッド」(p.59)、第11章 D「ケアの方向性を考える」(p.240~247)、第12章 D-3「肺炎」(p.300~301)
		c 排泄	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第8章-Column「〈看護の理論家たち④〉オレムとアンダーウッド」(p.59)、第11章 D「ケアの方向性を考える」(p.240~247)、第12章 B-4「排便のケア」(p.273~278)
		d 清潔と身だしなみ	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第8章-Column「〈看護の理論家たち⑤〉オレムとアンダーウッド」(p.55)、第9章 B-4「入院時のアセスメント」(p.105~115)、第12章 A-1-3「精神療法としての身体のケア」(p.256~261)、B-4-2「皮膚のケア」(p.271~272)、4-3「口腔のケア」(p.272~273) 精神保健福祉 : 第6章 A「長期入院患者の地域移行支援の展開」(p.158~173)、第7章 A-2「地域生活支援の展開と看護師の役割」(p.208~217)
		e 活動と休息	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第8章-Column「〈看護の理論家たち④〉オレムとアンダーウッド」(p.59)、第9章 E-1「治療の中心となるグループプログラム」(p.94~95)、第11章 D「ケアの方向性を考える」(p.240~247) 精神保健福祉 : 第6章 A「長期入院患者の地域移行支援の展開」(p.158~173)、第7章 A-2「地域生活支援の展開と看護師の役割」(p.208~217)
		f 対人関係	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第8章-Column「〈看護の理論家たち④〉オレムとアンダーウッド」(p.59)、第11章 D「ケアの方向性を考える」(p.240~247) 精神保健福祉 : 第6章 A「長期入院患者の地域移行支援の展開」(p.158~173)、第7章 A-2「地域生活支援の展開と看護師の役割」(p.208~217)
		g 安全	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第8章-Column「〈看護の理論家たち④〉オレムとアンダーウッド」(p.59)、第11章 D「ケアの方向性を考える」(p.240~247)、第13章「安全をまもる」(p.312~348)
	C 生きる力と強さに着目した援助	a レジリエンス	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第2章 C-8「ストレスをしなやかにねかえす力——レジリエンス」(p.47~48) 公衆衛生 : 第8章 E-1-1「レジリエンスとリカバリー」(p.268)
		b リカバリ〈回復〉	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第9章 A「回復の意味」(p.70~76)、B「リカバリーのビジョン」(p.77~79) 公衆衛生 : 第8章 E-1-1「レジリエンスとリカバリー」(p.268) 精神保健福祉 : 第4章 C「能力の再構築と再発防止のために——三次予防」(p.101~120)
		c ストレングス〈強み、力〉	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第2章 B-4「ストレスに対応する個人のなかの力」(p.36~38) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第9章 A「回復の意味」(p.70~76)、B「リカバリーのビジョン」(p.77~79)、第10章 C-1-2「ストレングスモデル」(p.152~153)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			精神保健福祉：第4章 C-2「リカバリーを支えるためのストレスモデル」(p.107～112)
		d エンパワメント	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第2章 C-6「回復への道」(p.45～46) 精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第9章 A-2-3「パーソナルリカバリーと臨床的リカバリー」(p.76)、B-2「リカバリーの中心はエンパワメント」(p.77～78)、第10章 C「Column エンパワメントとケアマネジメント」(p.153) 公衆衛生：第8章 E-5「当事者の力」(p.282～283) 精神保健福祉：第4章 A「精神障害の予防のために——一次予防」(p.67～81)、C「能力の再構築と再発防止のために——三次予防」(p.101～120)、第5章 B-4「精神障害者の就労支援」(p.145～149)、第6章 A「長期入院患者の地域移行支援の展開」(p.158～173)

目標Ⅳ. 精神疾患・障害がある者の生物・心理・社会的側面に注目した、多角的なアセスメントに基づく看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
4 精神疾患・障害がある者への看護	A 脳の仕組みと精神機能	a 脳の部位と精神機能	成人看護学 [7] (脳・神経)：第2章 B-1「脳」(p.23～32) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第5章 C-2-4「統合失調症の成因」(p.172～174)、3-6「気分[感情]障害の成因」(p.187～188)、第6章 C-2-1「向精神薬とはなにか」(p.266～268)、C-2-2「抗精神病薬」(p.268～275)
		b 神経伝達物質と精神機能・薬理作用	成人看護学 [7] (脳・神経)：第2章 A「神経系の分類と機能」(p.18～23) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第5章 C-2-4「統合失調症の成因」(p.172～174)、3-6「気分[感情]障害の成因」(p.187～188)、第6章 C-2-1「向精神薬とはなにか」(p.266～268)、C-2-2「抗精神病薬」(p.268～275) 臨床薬理学：第4章 D「精神および神経症状にかかわる薬剤の投与と調整」(p.259～276)
		c ストレス脆弱性仮説	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第1章 B-3「精神障害者がかかえる『現実の問題』と『生きにくさ』」(p.6)、第5章 C-2-4「統合失調症の成因」(p.172～174) 精神保健福祉：第5章 B-3-2「感情表出とストレス脆弱性モデル」(p.142～143)
		d 脳と免疫機能	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第2章 B-1「生体システムとしてのストレス反応」(p.31～33)
		e 睡眠障害と概日リズム〈サーカディアンリズム〉	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第5章 C-7-1「睡眠障害」(p.229～231) 精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第12章 B-5「睡眠とそのケア」(p.278～282) 臨床薬理学：第2章 G「睡眠薬」(p.73～77)
	B 心理・社会的療法	a 個人精神療法	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第6章 B-1「個人療法」(p.242～252)
		b 集団精神療法、集団力動	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第6章 B-2「集団精神療法」(p.252～256)
		c 心理教育的アプローチ	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第6章 B-3-4「家族心理教育(ファミリーワーク)」(p.260～263)、C-3「看護師による服薬へのかかわり」(p.285～288)
		d 認知行動療法	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第5章 B-1-3「認知・行動・身体にはたらきかける療法」(p.246～250) 精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第9章 F-3「認知行動療法(CBT)」(p.103～105) 人間関係論：第6章 A-6「認知行動療法」(p.117～120) 精神保健福祉：第4章 C-3-3「認知行動療法」(p.115～116)
		e 生活技能訓練(SST)	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第9章 F-2「ソーシャルスキルトレーニング(SST)」(p.100～103) 精神保健福祉：第4章 C-3-4「社会生活技能訓練」(p.116)
	C B以外の治療法	a 電気けいれん療法	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第6章 D-1-1「電気けいれん療法(ECT)」(p.288～290) 精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第12章 C-2「電気けいれん療法を受ける患者のケア」(p.293～297) 精神保健福祉：第5章 B-1-1「退院後に活用できる診療報酬」(p.134～135)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
D	家族への看護	a 家族のストレスと健康状態のアセスメント	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第4章 B「全体としての家族」(p.119~131)、第6章 B-3「家族療法」(p.256~265) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第10章 C-5「クライアントとしての家族／パートナーとしての家族」(p.171~178) 在宅看護論 : 第2章 C「家族」(p.39~50)、第5章 B-2-3「情報の整理とアセスメントの展開方法」(p.121~131) 家族看護学 : 第5章 E「精神疾患患者の家族看護」(p.236~250) 精神保健福祉 : 第5章 B-3「家族支援」(p.141~144)
		b 家族の対処力とソーシャルサポートのアセスメント	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第4章 B「全体としての家族」(p.119~131)、第6章 B-3「家族療法」(p.256~265) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第10章 C-5「クライアントとしての家族／パートナーとしての家族」(p.171~178) 在宅看護論 : 第2章 C「家族」(p.39~50)、第5章 B-2-3「情報の整理とアセスメントの展開方法」(p.121~131) 家族看護学 : 第5章 E「精神疾患患者の家族看護」(p.236~250)
		c 家族システムのアセスメント	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第4章 B「全体としての家族」(p.119~131)、第6章 B-3「家族療法」(p.256~265) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第10章 C-5「クライアントとしての家族／パートナーとしての家族」(p.171~178) 在宅看護論 : 第2章 C「家族」(p.39~50)、第7章 J「統合失調症の療養者に対する在宅看護の事例展開」(p.400~408) 家族看護学 : 第5章 E「精神疾患患者の家族看護」(p.236~250) 精神保健福祉 : 第5章 B-3-1「家族システム」(p.141~142)
		d 家族への教育的介入と支援	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第4章 B「全体としての家族」(p.119~131)、第6章 B-3「家族療法」(p.256~265) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第10章 C-5「クライアントとしての家族／パートナーとしての家族」(p.171~178) 在宅看護論 : 第2章 C「家族」(p.39~50)、第7章 J「統合失調症の療養者に対する在宅看護の事例展開」(p.400~408) 家族看護学 : 第5章 E「精神疾患患者の家族看護」(p.236~250) 精神保健福祉 : 第5章 B-3「家族支援」(p.141~144)
		e 患者-家族関係	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第4章 B「全体としての家族」(p.119~131)、第6章 B-3「家族療法」(p.256~265) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第10章 C-5「クライアントとしての家族／パートナーとしての家族」(p.171~178) 家族看護学 : 第5章 E「精神疾患患者の家族看護」(p.236~250)
E	社会復帰・社会参加への支援	a リハビリテーションの概念	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第6章 E-5「精神科リハビリテーション」(p.295~296) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第9章 A-2「リハビリテーションからリカバリーへ」(p.73~76) 精神保健福祉 : 第4章 C-1-1「精神科リハビリテーション」(p.102~104)
		b 国際生活機能分類(ICF)	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第2章 D-4「国際生活機能分類(ICF)の考え方」(p.50~52) 公衆衛生 : 第8章 G-1-1「障害とは」(p.293~295)
		c 長期入院患者の退院支援	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第7章 B-5「2000年以降の長期入院者の地域移行の動き」(p.319~321) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第10章 C-3「複合的な問題をかかえた長期入院患者の退院を支援する」(p.161~167)、第11章 E「退院に向けての支援とその実際」(p.247~254) 公衆衛生 : 第8章 E-2-1「精神健康に困難を有する人の相談機関」(p.270~272) 精神保健福祉 : 第4章 A-2-2「支援システムを構成するおもな社会資源」(p.75~78)、第6章 A「長期入院患者の地域移行支援の展開」(p.158~173)
F	精神保健医療福祉に関する社会資源の活用と調整	a 精神科デイケア、精神科ナイトケア	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第6章 E-5「精神科リハビリテーション」(p.295~296) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第10章 B-2-2「障害福祉サービス」(p.134~144) 精神保健福祉 : 第5章 B-1「活用できる社会資源」(p.132~138)
		b 精神科訪問看護、訪問看護	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第10章 B-2-2「障害福祉サービス」(p.134~144)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			在宅看護論：第2章 A-4-2「継続的な支援が必要な慢性的な療養状態」(p.34～35)、第7章 J「統合失調症の療養者に対する在宅看護の事例展開」(p.400～408) 精神保健福祉：第5章 B-1「活用できる社会資源」(p.132～138)
		c 困難事例に関する行政との連携(保健所、市町村、精神保健福祉センター)	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第10章 C-3「複合的な問題をかかえた長期入院患者の退院を支援する」(p.161～167)、第11章 E-3「多職種連携による地域移行支援」(p.251～253) 精神保健福祉：第8章 A「貧困と精神保健福祉」(p.244～253)
G	社会資源の活用とケアマネジメント	a 精神疾患・障害者ケアマネジメントの基本的考え方	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第10章 C-1「ケアマネジメントという方法」(p.150～153)
		b 社会資源の活用とソーシャルサポート	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第10章 A「『器』としての地域——地域精神保健の視点」(p.116～120)、B-2「地域生活を支えるシステムと社会資源」(p.130～150) 公衆衛生：第8章 E-2「地域生活を支えるためのしくみ」(p.270～277) 精神保健福祉：第5章 B-1「活用できる社会資源」(p.132～138)、第7章 A-2-3「地域生活支援が必要な場面と、社会資源について」(p.210～217)
		c セルフヘルプグループ	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第4章 C-2-4「セルフヘルプグループの源流——アルコールクス・アノニマス(AA)」(p.134～135)、2-5「当事者運動としてのセルフヘルプグループ」(p.135～136) 精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第10章 B-2-5「当事者組織・支援組織」(p.146～150) 公衆衛生：第8章 E-2-3「リカバリーを支えるしくみ」(p.274～277) 社会保障・社会福祉：第8章 E-4「セルフヘルプ・グループ」(p.250～251) 人間関係論：第12章 B-2「セルフヘルプグループ」(p.258～259) 精神保健福祉：第5章 B-5「ピアサポート」(p.149～153)
		d 自立支援医療	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第10章 B-2-2「障害福祉サービス」(p.134～144) 社会保障・社会福祉：第3章 F「公費負担医療」(p.82～83)、第7章 B-4-3「障害者総合支援法の成立」(p.191～195) 看護関係法令：第7章 D-2-2「自立支援給付」(p.225～226) 精神保健福祉：第7章 A-2-3「地域生活支援が必要な場面と、社会資源について」(p.210～217)
		e 居宅介護(ホームヘルプ)、同行援護および行動援護	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第10章 B-2-2「障害福祉サービス」(p.134～144) 社会保障・社会福祉：第3章 F「公費負担医療」(p.82～83)、第7章 B-4-3「障害者総合支援法の成立」(p.191～195) 精神保健福祉：第3章 A-2-1「障害者総合支援法の概要」(p.47～52)、第7章 A-2-3「地域生活支援が必要な場面と、社会資源について」(p.210～217)
		f 重度訪問介護	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第10章 B-2-2「障害福祉サービス」(p.134～144) 社会保障・社会福祉：第3章 F「公費負担医療」(p.82～83)、第7章 B-4-3「障害者総合支援法の成立」(p.191～195) 精神保健福祉：第3章 A-2-1「障害者総合支援法の概要」(p.47～52)
		g 生活介護	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第10章 B-2-2「障害福祉サービス」(p.134～144) 社会保障・社会福祉：第3章 F「公費負担医療」(p.82～83)、第7章 B-4-3「障害者総合支援法の成立」(p.191～195) 精神保健福祉：第3章 A-2-1「障害者総合支援法の概要」(p.47～52)
		h 短期入所(ショートステイ)	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第10章 B-2-2「障害福祉サービス」(p.134～144) 社会保障・社会福祉：第3章 F「公費負担医療」(p.82～83)、第7章 B-4-3「障害者総合支援法の成立」(p.191～195) 精神保健福祉：第3章 A-2-1「障害者総合支援法の概要」(p.47～52)、第7章 A-2-3「地域生活支援が必要な場面と、社会資源について」(p.210～217)
		i 共同生活介護(ケアホーム)	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第10章 B-2-2「障害福祉サービス」(p.134～144) 社会保障・社会福祉：第3章 F「公費負担医療」(p.82～83)、第7章 B-4-3「障害者総合支援法の成立」(p.191～195)



大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			精神保健福祉：第3章 A-2-1「障害者総合支援法の概要」(p.47～52)
		j 生活訓練	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第10章 B-2-2「障害福祉サービス」(p.134～144) 社会保障・社会福祉：第3章 F「公費負担医療」(p.82～83)、第7章 B-4-3「障害者総合支援法の成立」(p.191～195) 精神保健福祉：第3章 A-2-1「障害者総合支援法の概要」(p.47～52)、第5章 B-1-2「障害者総合支援法における社会資源」(p.135～138)
		k 就労移行支援	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第10章 B-2-2「障害福祉サービス」(p.134～144) 社会保障・社会福祉：第7章 B-5-2「就労支援」(p.197～201) 精神保健福祉：第3章 A-2-1「障害者総合支援法の概要」(p.47～52)、第5章 B-1-2「障害者総合支援法における社会資源」(p.135～138)、B-4「精神障害者の就労支援」(p.145～149)、第7章 A-2-3「地域生活支援が必要な場面と、社会資源について」(p.210～217)、B-2「就労支援の展開」(p.221～225)
		l 就労継続支援 A型・B型	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第10章 B-2-2「障害福祉サービス」(p.134～144) 社会保障・社会福祉：第7章 B-5-2「就労支援」(p.197～201) 精神保健福祉：第3章 A-2-1「障害者総合支援法の概要」(p.47～52)、第5章 B-1-2「障害者総合支援法における社会資源」(p.135～138)、第7章 A-2-3「地域生活支援が必要な場面と、社会資源について」(p.210～217)、B-2「就労支援の展開」(p.221～225)
		m 共同生活援助〈グループホーム〉	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第10章 B-2-2「障害福祉サービス」(p.134～144) 社会保障・社会福祉：第3章 F「公費負担医療」(p.82～83)、第7章 B-4-3「障害者総合支援法の成立」(p.191～195) 精神保健福祉：第3章 A-2-1「障害者総合支援法の概要」(p.47～52)、第5章 B-1-2「障害者総合支援法における社会資源」(p.135～138)、第7章 A-2-3「地域生活支援が必要な場面と、社会資源について」(p.210～217)
		n 地域生活支援事業	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第10章 B-2-2「障害福祉サービス」(p.134～144) 社会保障・社会福祉：第3章 F「公費負担医療」(p.82～83)、第7章 B-4-3「障害者総合支援法の成立」(p.191～195) 精神保健福祉：第3章 A-2「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)」(p.47～55)、第5章 B-1-2「障害者総合支援法における社会資源」(p.135～138)
		o 精神障害者保健福祉手帳	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第7章 E-2-3「生活を支えるための法律と制度」(p.350～354) 精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第10章 B-2-3「精神障害者保健福祉手帳による支援」(p.145) 公衆衛生：第8章 E-2-2「地域での生活を支える制度」(p.272～274) 社会保障・社会福祉：第7章 B-1-4「精神障害者の特徴」(p.180) 看護関係法令：第4章 B-1-6「精神障害者保健福祉手帳」(p.129) 精神保健福祉：第3章 A-1「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(精神保健福祉法)」(p.40～47)、第7章 A-2-3「地域生活支援が必要な場面と、社会資源について」(p.210～217)

目標V. 精神疾患・障害がある者の人権と安全を守り、回復を支援する看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
5 安全な治療環境の提供	A 安全管理〈セーフティマネジメント〉	a 病棟環境の整備と行動制限	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第11章 B-1-1「入院のメリット」(p.214～218)、B-2「治療的環境としての病棟」(p.223～229)、第13章 A-1「安全の条件」(p.312～315)
		b 自殺、自殺企図、自傷行為	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第13章 B-2「自殺」(p.324～331) 精神保健福祉：第4章 B-2-3「自殺対策」(p.93～96)
		c 攻撃的行動、暴力、暴力予防プログラム	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第13章 B-3「暴力」(p.331～342)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所	
		d 災害時の精神科病棟の安全の確保	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 15 章 B-3 「病院が被災したとき」 (p.384～386) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学) : 第 2 章 E-5 「精神障害者に対する災害看護」 (p.157～161)	
6 精神保健医療福祉の変遷と法や施策	A 患者の権利擁護 (アドボカシー)	a 当事者の自己決定の尊重	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 8 章 B-1 「人としての尊厳を尊重する」 (p.7～9)	
		b 入院患者の基本的な処遇	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 11 章 A-2 「入院という体験」 (p.198～209)、第 13 章 A 「リスクマネジメントの考え方と方法」 (p.312～323) 看護関係法令 : 第 4 章 B-1-4 「医療と保護」 (p.127～129)	
		c 精神医療審査会	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 7 章 E-1-4 「精神障害者の保健医療福祉制度の基盤となる 2 つの法律」 (p.339～340)、「NOTE 精神医療審査会」 (p.345) 看護関係法令 : 第 4 章 B-1-5 「精神医療審査会・地方精神医療審査会」 (p.129) 精神保健福祉 : 第 2 章 A-1-4 「精神保健法の制定」 (p.19～20)、第 3 章 A-1-1 「精神保健福祉法の主要項目」 (p.40～42)	
		d 隔離、身体拘束	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 13 章 A 「リスクマネジメントの考え方と方法」 (p.312～323) 精神保健福祉 : 第 8 章 B-3-4 「虐待防止の体制整備と取り組み」 (p.261～264)	
	B 精神保健医療福祉の変遷と看護	a 諸外国における精神医療の変遷	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 7 章 A 「精神障害と治療の歴史」 (p.298～310) 精神保健福祉 : 第 2 章 B 「諸外国における精神保健福祉改革」 (p.34～38)	
		b 日本における精神医療の変遷	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 7 章 B 「日本における精神医学・精神医療の流れ」 (p.310～322) 精神保健福祉 : 第 2 章 A 「わが国の精神保健福祉の変遷」 (p.12～33)	
		c 精神保健医療福祉における看護師の役割	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 1 章 「精神看護学で学ぶこと」 (p.2～22)、第 7 章 E-1 「精神看護における法律」 (p.317～318) 精神保健福祉 : 第 7 章 A-2 「地域生活支援の展開と看護師の役割」 (p.208～217)	
	C 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 (精神保健福祉法) の運用	a 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 (精神保健福祉法) の基本的な考え方	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 7 章 E-1-4 「精神障害者の保健医療福祉制度の基盤となる 2 つの法律」 (p.339～340) 看護関係法令 : 第 4 章 B-1 「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」 (p.125～131)	
		b 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 (精神保健福祉法) による入院の形態	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 7 章 E-2-1 「権利擁護に関する法律と制度」 (p.340～348) 看護関係法令 : 第 4 章 B-1-4 「医療と保護」 (p.127～129) 精神保健福祉 : 第 3 章 A-1 「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 (精神保健福祉法)」 (p.40～47)	
		c 精神保健指定医	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 7 章 E-2-2 「医療を受けるための法律と制度」 (p.348～350) 看護関係法令 : 第 4 章 B-1-3 「精神保健指定医」 (p.126～127) 精神保健福祉 : 第 3 章 A-1 「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 (精神保健福祉法)」 (p.40～47)	
	7 精神保健医療福祉における多職種連携	A 多職種連携と看護の役割	a 医師、歯科医師	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 6 章 E-2 「治療共同体の実践」 (p.292～294) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 10 章 C-2 「アウトリーチと多職種連携」 (p.153～161)
			b 保健師	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 10 章 B-2-1 「相談支援」 (p.131～134)、C-2 「アウトリーチと多職種連携」 (p.153～161)、5 「クライアントとしての家族/パートナーとしての家族」 (p.171～178)
c 精神保健福祉士			精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 10 章 B-2-1 「相談支援」 (p.131～134)、C-2 「アウトリーチと多職種連携」 (p.153～161) 社会保障・社会福祉 : 第 1 章 B-6 「社会保障・社会福祉の従事者と担い手」 (p.26～27) 看護関係法令 : 第 3 章 B-5-2 「精神保健福祉士法」 (p.99～100) 精神保健福祉 : 第 4 章 A-2 「精神保健福祉に関する支援システム」 (p.73～81)	
d 作業療法士			精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 6 章 E-4 「作業療法」 (p.294～295)	

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			精神保健福祉：第4章 A-2「精神保健福祉に関する支援システム」(p.73～81)
		e 精神保健福祉相談員	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第10章 B-2-1「相談支援」(p.131～134) 精神保健福祉：第4章 A-2「精神保健福祉に関する支援システム」(p.73～81)
		f ピアサポーター	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第10章 B-2-5「当事者組織・支援組織」(p.146～150) 精神保健福祉：第5章 B-5「ピアサポート」(p.149～153)
		g 薬剤師	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第8章 G「チームのダイナミクス」(p.63～67)、第11章 B-1-1「入院のメリット」(p.214～218)
		h 栄養士	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第8章 G「チームのダイナミクス」(p.63～67)、第11章 B-1-1「入院のメリット」(p.214～218)、第12章 D-2「やせ(るい瘦)」(p.300)
		i 臨床心理技術者(臨床心理士、公認心理師等)	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第6章 B-1-2「支持に力点をおいた療法(支持療法)」(p.244～246) 精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第10章 B-2-1「相談支援」(p.131～134)、C-2「アウトリーチと多職種連携」(p.153～161) 精神保健福祉：第4章 B「早期の対応と地域生活をつなぐために——二次予防」(p.81～101)、第5章 B-2「アウトリーチ」(p.138～141)、B-6「地域における精神障害者への危機介入」(p.153～156)、第6章 A「長期入院患者の地域移行支援の展開」(p.158～173)